

田植えの儀式を行う仲村渠区民21日、南城市
玉城字百名の受水走水



区民ら豊作祈る

【南城】琉球の稲作発祥の地といわれる南城市玉城字百名の受水走水で21日、仲村渠区の伝統行事「親田御願」があり、区民らが田植えの儀式や拝みで豊作を祈った。

後、受水走水にある「親田」と呼ばれる田んぼに移動。区の男性3人が苗を植え付けた。ことしは初めて、地元の百名小学校の児童が授業で見学に訪れた。児童らは、区民ら

受水走水で「親田御願」 南城市 玉城

行事は、毎年旧正月後、初めての旧午の日に実施される。区民らは初めに、中国から飛んできた鶴が稲穂を落としたりとされる拝所「米地」で祈願した。

行事は、毎年旧正月後、初めての旧午の日に実施される。区民らは初めに、中国から飛んできた鶴が稲穂を落としたりとされる拝所「米地」で祈願した。

う、城間慎治さん(39)は「貴重な経験ができた。率先して、この伝統行事を継承していきたい」と話した。

読んで
広がる
NIE

動画